杉並

70周年記念し旗開き

「公契約制定にご尽力を」と

石原議員（左）、田中区長（右から３人目）も加わり勢いよく鏡開き

【杉並・書記・喜多正之通信員】1月19日、ヒルトン東京での杉並支部70周年記念旗開きは192人の組合員・家族と来賓50人の参加で開催しました。

70年を振り返るスライドショーのあと開会し、大戸龍雄委員長が杉並で公契約条例制定が迫ったことにふれ「区長、区議会各会派のご理解・ご尽力に拍手を」と促すと盛大な拍手がおこりました。

来賓あいさつは、田中良杉並区長、羽住英一荻窪消防署警防課長、松丸一雄東京土建中央執行委員長、ブロック代表の世田谷の佐久間法博委員長のほか、地元選出の石原のぶてる衆議院議員からもいただきました。

乾杯後歓談に入り、共産党、都民ファーストの会、公明党、自民党、立憲民主党があいさつ。そして杉並建設労組、杉並区職労、野辺秀男、大平義道元執行委員長のあいさつに続き分会表彰、アトラクション（歌手・永山こうじ）、豪華福引抽選も盛りあがり、最後に団結ガンバローで終了しました。

板橋

ソナエリアを見学

災害救助隊に役立てる

館内の説明を受ける土建板橋災害救助隊のメンバー

【板橋・書記・森千恵子記】板橋支部では1月12日、後継者対策部と合同企画としてソナエリア見学を行ない、バス2台で69人が参加しました。

ソナエリアに向かう途中で、オリンピック選手村を車窓より見学。選手村建設にあたっては、駐車場不足などで、毎朝最寄りの駅から30分以上歩かなければならなかったという仲間の証言を改めて実感することができました。

ソナエリアでは、大地震後の72時間生き残り体験として、何が起こるのかなど解説を受けながら見学し、ライフラインが止まった時に備えておく必要があること（トイレ・ラップの活用・常備薬の確保など）を確認することができました。

土建板橋災害救助隊では、2カ月に1回のペースで災害時救助のための講習を行なっていますが、参加者からの要望としては、「災害救助活動は繰り返しの訓練が大切なので、これまで取り組んできた講習を繰り返し行なっていくことが大切」「見学・体験学習も交互に取り組んでいくと飽きずに参加できていいのではないか」などが寄せられました。昼食後築地見学に移動しましたが、その途中で更地となってしまった市場を車窓から見学し、衝撃を受けました。

今月の主張

国会で疑惑の徹底解明を

1月20日、通常国会が召集されました。安倍首相は施政方針演説でアベノミクスの成果を持ち上げたり、全世代型社会保障制度については「改革を実行する」と語ったりしましたが、身内の優遇や公文書管理の問題も露呈した「桜を見る会」、副大臣の汚職事件が明らかとなった統合型リゾート（IR）事件、公職選挙法違反が疑われて辞任した2閣僚についての言及はありませんでした。

また憲法改正は「歴史的使命」だとして、与野党議員に対して改憲案をだすことが国会議員の責任だと強調し、東京五輪・パラリンピックを機に「国民一丸となって新しい時代へと踏み出していこう」と呼びかけました。安倍政権は都合の悪いことには口を閉ざし、その一方で強権的な政治を推し進めています。

今回の通常国会は夏に東京都知事選挙と東京五輪・パラリンピックを控え、会期延長は難しいとされており、政府は提出法案を52本に絞り、予算案や年金制度改革などの関連法案の早期成立をめざすとしています。しかし「桜を見る会」、IR事件、公職選挙法違反など国会で疑惑の解明が望まれているにも関わらず、真摯に向き合わない安倍政権の政治姿勢がまず問われます。

安倍政権は第1次内閣も含めた通算在職日数で歴代最長記録を更新し続けていますが、こうした事態は長期政権だから起こる緩みだと批判されても仕方がありません。不祥事や疑惑についての説明責任を果たさず、世間の関心が薄れるのを待つという政治姿勢が、国民の知る権利を侵害しているとともに政治不信を助長させています。安倍首相は東京五輪・パラリンピックでの夢や希望を語る前に、真相究明を求める国民の声を正面から受け止めるべきです。

国会に向けてコール

改憲許さない
―国会前行動

「安倍9条改憲NO」を掲げ月例19日の国会前行動は、2020年最初の1月は日曜日に当たり、午後2時から行なわれ、1700人の市民が集結しました。

主催者を代表して、「戦争をさせない1000人委員会」の藤本泰成さんは「安倍内閣は閣議決定だけで自衛隊の中東派兵をする。米歴代政権はイスラム社会を好きなようにかき回してきた。米との軍事一体化は、日本がそのことのすべてに付き合うということ。武力では平和は守れない」とスピーチしました。

立憲野党の岸真紀子（立民）、吉良佳子（共産）、両国会議員が、翌日から始まる通常国会では自衛隊の中東派兵、桜を見る会、IRカジノなどの問題で安倍内閣を徹底追及すると決意表明すると、参加者から激励の大きな拍手が起こりました。

自治体キャラバン・品川

独自資料も示し要望

発言する津田副委員長

品川区での自治体キャラバンは1月22日、区第3庁舎で行なわれ、組合側からは東京土建から品川支部の津田副委員長、小島書記ら総勢12人、品川区側からは経理、人事、総務課の課長が出席しました。

「自治体が発注する公共工事や公共調達、民間委託・指定管理者制度の事業に従事する労働者に公正な賃金・労働条件を保障するために」の項目で東京土建のメンバーが発言。独自の資料を配布し、公契約条例にもかかわる、最低制限価格制度の対象金額の引き下げを要望し、昨年7月に大井ホッケー競技場工事現場で実施した賃金調査から明らかになった設計労務単価の8割に満たない実態、建退共加入状況を示しました。

区側は、今後の検討と必要な確認を行なうと述べ、公契約条例に関しては労働環境のチェックシート（約200件）などの分析も進め、引き続き検討していくとしました。

第54回 主婦の会総会告示

東京土建本部主婦の会は、第54回総会を、規約第7条に基づき、次のように告示します。

日時 2020年2月15日(土)
午前10時開会

会場 けんせつプラザ東京

参加対象 本部主婦の会役員。総会の代議員は各支部の160人に1人の割合で選出。（最低2人を基礎保障とします）
支部主婦の会担当書記も参加対象とします。

東京土建一般労働組合主婦の会
会長　塩野 操

第63回 青年部大会告示

東京土建一般労働組合青年部第63回定期大会を規約第14条に基づき、下記の日程で開催します。

日時 2020年3月1日(日)
午前10時開会

会場 けんせつプラザ東京

代議員 本部役員、本部執行委員、基礎代議員、比例定数代議員

※代議員数は2020年1月1日登録人員に基づき、本部執行委員会で確認します。

東京土建一般労働組合青年部
部長　五本木 宏晃